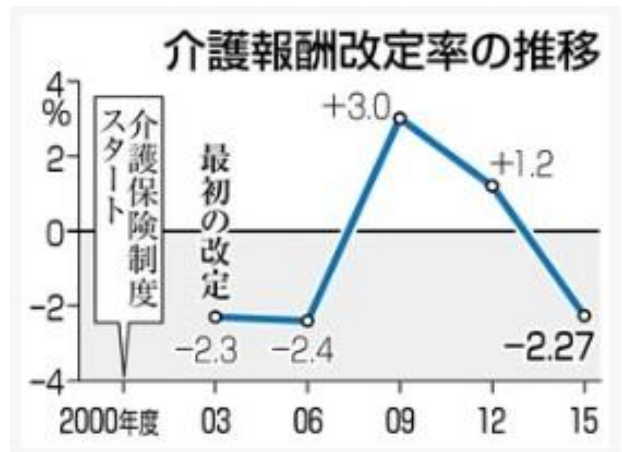


医労連速報 '15春闘

2015年1月19日 No3 東京都台東区入谷 1-9-5 日本医労連 tel 03-3875-5871

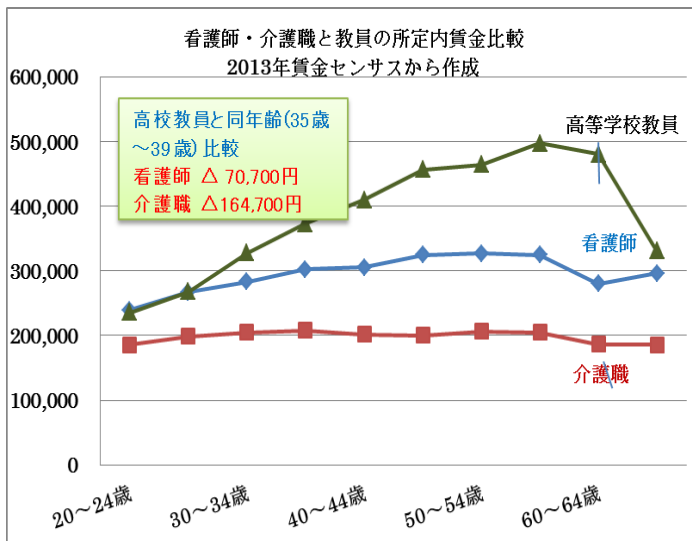
「賃金が安い」が職場の不満トップ！ 大幅賃上げで働き続けられる職場にしよう

2015年予算案の閣僚折衝で、介護施設には過剰な内部留保があるとして、介護報酬の2.27%引き下げが合意したと報道がされました。引下げの動きに、日本医労連も団体署名に取り組み、引下げ断固反対の声明を出してきました。介護業界全体でも財務省の「過剰なため過ぎ」への反発と引下げ反対の動きが強まっています。介護報酬マイナス改定に断固反対し、引上げを求める運動は焦眉の課題です。



あわせて、介護労働者の処遇改善は、介護報酬が引きあがったもとでも、人材不足が顕著なもとでも進んでおらず、2013年度賃金センサスでも全産業平均より約10万円低くなっています。医療についても、他産業との賃金格差は依然残っています。

診療・介護報酬を、賃金改善の前提にするのではなく、医療・介護労働者が働き続けるための賃金確保、人手不足を解消できる賃金水準、増税・物価高による負担増を埋め合わせる賃上げを求めていくことが不可欠です。



アンケートでも生活の苦しさを訴える回答が増えています。「賃金闘争ハンドブック」(近日発送)を活用した生計費原則にもとづく要求討議、ストライキの学習・準備をしっかりと進め、大幅賃上げめざして団結してたたかきましょう。

